



# くすのき



No.10

H25年12月発行

講演会「子ども・若者の自立支援のために」～不登校・ひきこもりから回復した私～

11月20日、蒲都市子ども・若者支援ネットワーク協議会主催の講演会を行いました。84名の参加者が、青木美久さんの講演を聴きました。自らいじめ被害やひきこもりを体験された青木さんのお話は、説得力があり聴く人をひきつけました。若者支援は、「役割を与える」「環境を変える」「経験値を増やす」の3つの柱が大切で、その一つ一つを現在行っている若者支援を例に出し、ていねいに語ってくれました。参加者はネットワーク協議会関係者だけでなく身近にひきこもりの若者がいる方もおり、今後の支援の参考になる内容でした。今後こうした研修会を年に1回程度開催し、子ども若者支援への理解を深めていく予定です。

十二月二十日、一月十日は  
 青少年の非行・被害防止に取り組む県民運動(冬期)実施期間です

内閣府主催の研修会に参加してきました  
 子ども・若者育成支援のための地域連携推進事業「中央研修会」は11月25、26日の両日、東京で開催され、平松が参加してきました。

最近のままごと遊びでは、料理を作る作業さえ省かれて、食器に盛り付けるだけの配膳遊びになっている。また、集団宿泊体験のある子どもは、書く力を問う問題の正答率が高くなる傾向があると全国学力学習状況調査の結果で明らかになった。ゲームやインターネットでなく、子どもにもっと体験活動を！

児童虐待の被害者が、非行少年や犯罪者になる傾向がある。性的虐待を受けた子は自殺既遂率が高くなる。虐待の早期発見が大事。

学校でいじめがあったとき仲裁する子と傍観する子がいるが、日本では学年が上がるにつれ、傍観者が増える傾向。イギリスやオランダでは仲裁者が増える傾向。日本では大人になるとは空気が読めること、イギリスやオランダでは、正義を貫くこと。

大人社会のあり方を見直す必要性を示唆された。

勉強になりました



青木さん  
 自らの体験を熱く語る



熱心に話を聞く  
 参加者の皆さん

## 1月の補導予定

- 大塚班 17日(金)18:00 大塚公民館
- 三谷班 17日(金)18:00 三谷公民館
- 蒲郡班 10日(金)16:30 勤労福祉会館
- 中部班 17日(金)17:30 北部小学校
- 塩津班 17日(金)18:00 塩津公民館
- 形原班 10日(金)19:00 形原中(研修会)
- 西浦班 10日(金)17:20 西浦駅

よろしくお願ひします



編集後記 間もなく冬休みに入ります。2週間ほどですが、子どもたちにとってはクリスマス、お正月、お年玉・・・と、心躍る内容がいっぱい詰まった期間です。また、昔からのならわしを学んだり、家族の絆の大切さに気付かせたりする大切な期間でもあります。親も子ども学校や会社が休みで、家庭での時間を十分とれることは、1年間のうちでそう多くはありません。是非、こうしたチャンスをそれぞれの家庭が生かし、親子共々楽しい冬休みであってほしいと願っています。